

ダイバーシティ推進 オフィス ニュース

Vol. 6

みずき ▶ Diversity Promotion Office News

令和2年3月30日

第11回

男女共同参画室講演会「男に介護は難しい?ジェンダーの視点で考える『親の老いとの付き合い方』」を開催しました

10月10日(木)、「第11回男女共同参画室講演会」を、東京都健康長寿医療センター研究所研究員・平山亮氏を講師に迎え、「男に介護は難しい?ジェンダーの視点で考える『親の老いとの付き合い方』」をテーマに開催しました。当日は、教職員、学生など約80名の参加がありました。一般的に男性が抱えやすいといわれる介護の問題について、事例を挙げながら性別役割観からみて男性であれば珍しく注意を向けてもらえることであっても、女性であれば介護における困難がみえにくくなるといったジェンダー非対称性の指摘がありました。さらに介護を受ける親が希望・ニーズを伝えられる人や親のニーズを判断してくれる人、いろいろな見方、判断を可能にするため、介護に複数で関わることの重要性を述べられました。



講演会の様子

講演中の平山氏

第3回

彩の国女性研究者ネットワークシンポジウム ～埼玉県的女性研究者・技術者の活躍推進と次世代育成に向けて～ を開催しました

令和元年11月15日(金)

本学総合研究棟シアター教室にて

本シンポジウムには、本学教職員・学生を始め、同ネットワーク参画機関の方々、他大学、民間機関・公的機関の方々等、合わせて174名の方が参加されました。山口宏樹学長の開会挨拶、国立研究開発法人科学技術振興機構プログラム主管の山村康子氏の来賓挨拶に続き、学長特別賞「みずき賞」の授与、そして、本年度みずき賞を受賞された理工学研究科荒木稚子准教授のスピーチが行われました。

第1部では、「研究機関と研究技術開発紹介～学生の進路選択・就職活動についてのアドバイス～」と題し、彩の国女性研究者ネットワーク参画機関の研究者・技術者の方々にご登壇いただき、機関の紹介、研究者・技術者としての働き方や研究内容などについてお話いただきました。様々な分野で研究・技術開発に取り組む方々の発表に、熱心に耳を傾けていました。特に、第一線で活躍する女性研究者・技術者の、自らの仕事と家庭の両立方法のご報告は、学生の皆さまにとって、進路を考える上での貴重な機会となりました。第1部終了後には、ラウンジにてコーヒブレイク&ポスターセッションが行われ、若手研究者が最新の研究成果を発表し、コーヒーや紅茶を飲みながら、リラックスした雰囲気の中、発表者は、様々な質問に熱心に答えていました。第2部では、同じく参画機関の女性研究者・技術者の方々から「女性研究者・技術者の管理職への道」をテーマに管理職として活躍する女性の方々にご登壇いただき、管理職としての経験や課題についての発表が行われました。「常に悩みながらも、周囲に協力をしてもらったからこそ30年以上の経験を積むことができた」、「相談できる先輩がいた」「他社のロールモデルと交流しながら、憧れの気持ちを持ち続けた」等、様々な体験が語られました。



登壇者全員の記念撮影



山口学長と「みずき賞」を授与された荒木准教授



満員となったシンポジウム会場

ライフイベントと仕事の両立のための支援制度をご利用ください



ファミサポ補助事業

支援策紹介 3

制度の内容

ファミリー・サポート・センター事業（ファミサポ）等の育児援助を利用する場合に、その利用料金の一部を援助します。（利用対象者 1 家庭当たり上限月 20 時間分）

補助対象者：市区町村が行うファミサポや緊急サポートセンターを業務上やむを得ない理由で利用する教職員（非常勤職員の場合は社会保険加入者に限る）

その他の支援制度については、HP をご覧ください。

URL <http://park.saitama-u.ac.jp/~kyodo-sankaku/>

埼玉大学 男女共同参画室

検索



男女共同参画室員のご紹介

男女共同参画室員の方を順次ご紹介いたします。

「4年間で振り返って」

副学長（男女共同参画担当） 堀田 香織

男女共同参画担当副学長になり4年が過ぎました。「女性教員の数だけ増やすのはナンセンスだ」という声が聴かれる中で、「優秀な女性を発掘・採用してください！」とお願いし続けた4年間でした。そして、女性教職員が働きやすい職場環境実現のために子育て介護中の教職員支援を行ってきました。「女性教職員が働きやすい」ことから始めて、だれもが働きやすい職場の実現を目指してきたわけですが、病気を抱えている教職員や病気休業明けの教職員が働き続けたり復帰したりしやすいシステム、性的マイノリティの教職員が働きやすい職場環境づくりなど、残っている仕事は多々あります。埼玉大学が障がい者の方々にとって働きやすい職場であり得ているかも、お一人お一人にお尋ねしてみることが大事だったかもしれません。そういう意味でまだまだ課題山積ですが、いつの日か、埼玉大学にダイバーシティ研究環境が実現し、男女共同参画（ダイバーシティ推進）担当副学長という役職が必要なくなる日まで、力を合わせて歩みたいと切に願っています。

人事課教職員係長 新保 孝之

今年の1月から男女共同参画室の事務を担当することになりました。私は携わることができませんでしたが、当室では講演会、ネットワークシンポジウム等を開催したほか、病児保育補助事業制度及び学童保育補助事業制度を新設し、職場環境を整備することで女性教職員の参画拡大に向けた環境づくりを行いました。次年度以降も微力ではございますが、男女共同参画の推進に少しでも貢献できるよう努めてまいります。

人事課教職員係 牧 ちひろ

平成30年4月に人事課教職員係に異動となり、男女共同参画室及びダイバーシティ推進オフィスの事務を担当して2年経ちました。講演会やセミナー等のイベントの広報や、各支援制度の事務作業を担当しています。育児や介護等のライフイベント中の教職員が働きやすい職場環境を目指し、室員の方々の活動を支え、大学の男女共同参画の推進に向けた取組みに事務方として貢献していきたいと思っております。

彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナーを開催しました。

理化学研究所 和光キャンパス見学会

令和元年9月24日（火）、理化学研究所和光キャンパスにて、彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナーを開催しました。当日は、芝浦工業大学、埼玉県立大学、埼玉大学から18名の学部生・大学院生の参加がありました。研究室見学では、まず今本細胞核機能研究室を訪問し、「自由な発想で研究を進め、うまい問いかけをするといい答えが返ってくる」と学生たちに研究のコツを教えてくださいました。次に金有洙先生のKim表面界面科学研究室を見学し、研究にとってのダイバーシティの重要性についてお話しくださしました。先生のメンバーの半数が外国人で、女性も半分在籍しており、研究室では、意図的に多様な背景の人を集めて、多様な発想を大切にしているとのことでした。参加した学生達は、熱心に先生方の話に耳を傾け、様々な質問をしていました。



金有洙先生の講義を熱心に聴講する参加学生のみなさん



今本尚子先生を囲む参加学生のみなさん

マレリ株式会社（旧カルソニックカンセイ株式会社）実験研究センター見学会

令和元年11月27日（水）、マレリ株式会社実験研究センター（栃木県佐野市）にて、令和元年度第2回彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナーを開催しました。当日は、芝浦工業大学、埼玉大学から学部生・大学院生・留学生9名が参加しました。実験研究センター内にある様々な施設の中から、全天候風洞実験室、実車電波暗室の2つの実験施設の見学をしました。研究者は、製品化のためにコストを抑えながらも、最大限の効果を出せるよう、研究を繰り返しているとのことでした。学生からは様々な質問が出され、みな、研究者の説明を熱心にメモしながら聞き入っていました。



マレリ（株）の概要について熱心に聞く参加者



参加者とマレリ株の皆さまとの記念撮影

ダイバーシティ
論入門
第3ターム3・4限
来年度も開講します!



埼玉大学マスコットキャラクター
メリンちゃん

